

事例報告

～本学の就職支援体制と
就職活動早期化への対応～



北海道武蔵女子短期大学 権藤 拓
gon@hmjc.ac.jp

本日お伝えすること

1. 北海道武蔵女子短期大学について
2. 本学の就職支援体制について
3. 就職活動早期化への対応について
4. まとめ

1. 北海道武蔵女子短期大学について

開学	1967年（昭和42年）4月 北海道武蔵女子短期大学教養科開学（図書館司書課程付設）
設置学科・付設課程	・教養学科（図書館司書課程・ビジネス教養課程） ・英文学科 1974年に増設 ・経済学科 1995年に増設
教員数	専任教員30名 非常勤講師39名（令和元年度） ※専任職員21名（うち就職課職員は3名）
収容定員	教養学科200名 英文学科120名 経済学科80名
学生数	798名（平成31年4月1日現在） （教養学科416名、英文学科220名、経済学科162名）
設置法人等	学校法人北海道武蔵女子学園
系列校・併設校	なし

2. 本学の就職支援体制

《全体》就職ガイダンス（1年次7回、2年次8回の計15回）

※「キャリア教育」の授業では就活のノウハウは行わない

《目的別》就職対策総合講座（航空、金融、公務員、筆記対策）

就活バックアップ講座（総合職、製菓、J A、事務職等）

企業研究セミナー（昼の20分Verと夕方の60分Verあり）

求人説明会（昼休みに行う就職課職員による説明会）

《個別》ゼミナール担当教員との面談、日常的な相談

キャリアカウンセラーの予約（1コマ60分）

就職課職員による個別面談

2. 本学の就職支援体制

《就職支援スタッフ》

1. ゼミナール担当教員

- アドバイザーとして約15名（1学年につき）のゼミ学生を担当

2. 就職課職員

- 3名体制で全員民間企業経験者

3. 学外のキャリアカウンセラーとジョブサポーター

- キャリアカウンセラー5名（本学でのキャリア5年～11年）
- ジョブサポーター5名（5名のスタッフが交代で出勤）

2. 本学の就職支援体制

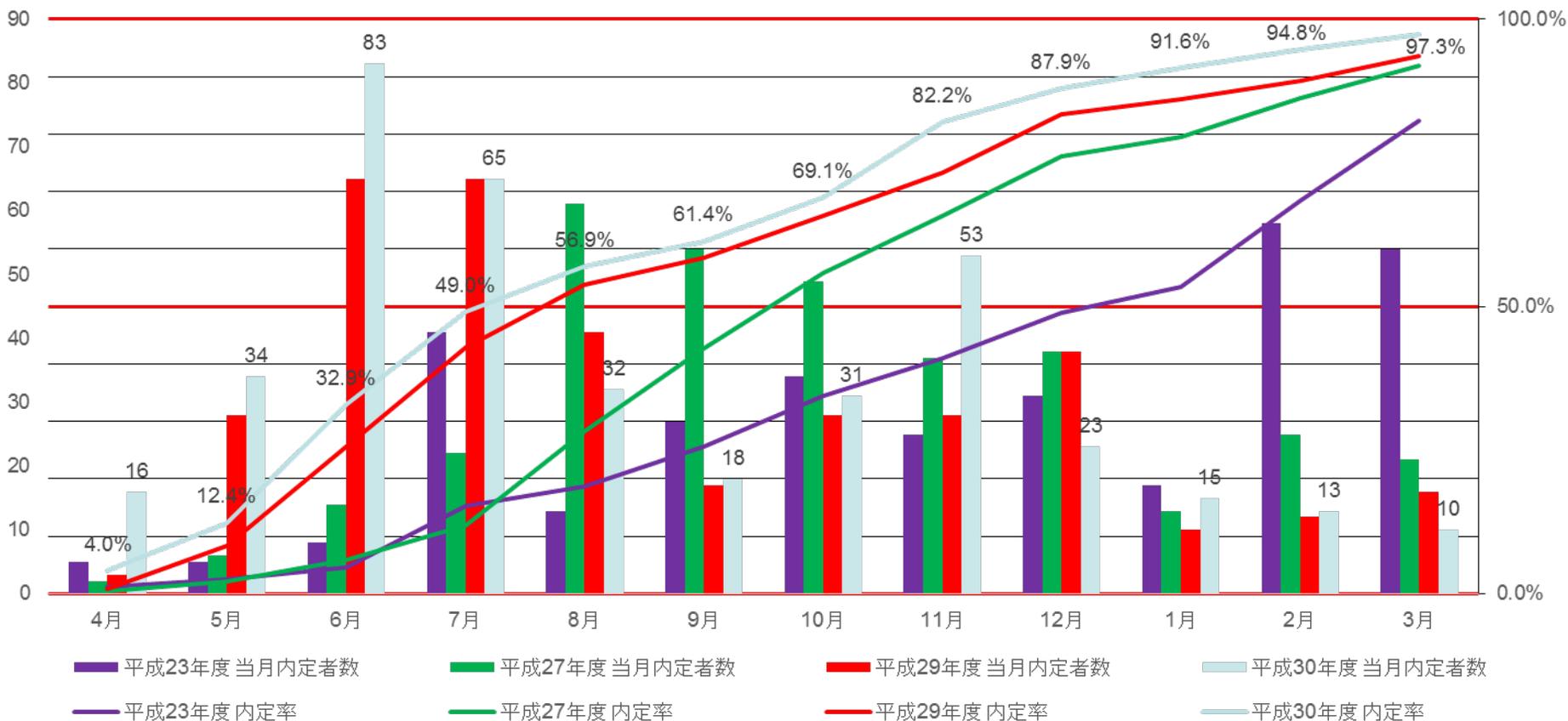
平成30年度 学生のキャリアカウンセラー利用コマ数

- 男性カウンセラー（60代） 武蔵歴11年目 195コマ
- 女性カウンセラー（50代） 武蔵歴 8年目 487コマ
- 女性カウンセラー（40代） 武蔵歴10年目 182コマ
- 女性カウンセラー（40代） 武蔵歴 6年目 541コマ
- 女性カウンセラー（40代） 武蔵歴 5年目 170コマ
- ハローワーク
ジョブサポーター（5名） 武蔵歴 5年目 149コマ

※2143枠を用意し、1724枠の利用あり。

3. 本学の就職活動早期化への対応

内定者数・内定率の推移



単月内定者数、内定率推移

就職ガイダンス 1年次日程

月	回	主なプログラムテーマ
9月	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の支援体制と就職活動の全体像 ・ 就職ガイダンスにおけるルール
10月	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学学生の就職活動スケジュール ・ 就職活動において準備する項目の概要
	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生内定者との懇談会
11月	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「就職活動ハンドブック」の説明 ・ 就職情報サイトの活用法と就活イベント参加の心得
1月	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・ メイク講座 ・ 求人票の見方(税金、社会保険、企業情報等) ・ 自己分析(自己理解)の実践 ・ 企業研究(業界研究・職種研究)の実践 ・ 履歴書作成実践講座 I (本学所定履歴書を作成) ・ 職種、職業選択、企業選びの考え方
2月	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就活イベント(合説)参加の心得② ・ 就活マナー講座と単独説明会のポイント
3月	第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職活動における実践的なマナー講座 ・ 履歴書作成実践講座 II ・ ビデオを通して面接・グループディスカッションを知る

就職ガイダンス 2年次日程

月	回	主なプログラムテーマ
4月	第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新2年生として具体的な就職活動の方法 ・ 学校推薦選考会における選考方法(基準) ・ 本学における就職活動のルール
5月	第9回 «学生はA・Bから選択»	A 既に応募書類を提出した等、実際に選考が進んでいる学生 B どの企業を受験するか決まっていない学生 【共通内容】 昨年度の就職状況、今年度の企業動向情報
6月	第10回 «学生はA～Cから選択»	A 企業の選び方 B 面接練習 C 個別相談会
7月	第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季休業中の就職活動について
9月	第12回 «学生はA～Dから選択»	A 後半戦における就職活動について -過去に受験したことがある学生対象 B 後半戦における就職活動について -過去に受験したことがない学生対象 C 内定者ガイダンス D 公務員対策講座
10月	第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋以降に本学に届く求人の特徴について
12月	第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 志望先企業の選択肢を広げよう
2月	第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春季休業期間中における就職活動について

3. 本学の就職活動早期化への対応

本学の就職活動早期化への対応

- 就職ガイダンス日程等を大幅に早めず、
本学のボリュームゾーンを中心に据えた<マス>支援を行う

《理由》 ～ 学生アンケートや面談時のヒアリングから ～

- ・「時期が遅い」と不満を持つ学生はごく少数
- ・学生は早い時期に伝えたことを覚えていない
それは、多くの学生が自分事として捉えていないから
- ・学生、教職員にとってお互い無駄な時間

3. 本学の就職活動早期化への対応

早期に活動する学生への対応

- 採用時期が早い業界・職種、早目に活動する学生のため、バックアップ講座の開催や個別のフォローアップを行う
 - 【例】 総合職、製菓業界、航空業界等、
四大生と競合になる採用試験が中心の職種・業界
- 外部のイベントに参加するよう促す
 - 【例】 情報会社主催のイベント、インターンシップ合説、
業界研究セミナー等

3. 本学の就職活動早期化への対応

就活バックアップ講座

- 総合職バックアップ（1年次11月）
グループワークを通して、社会人基礎力、総合職・営業職に求められる力、就活で必要な力を身に付ける
- グループディスカッションバックアップ（1年次2月、4月）
- 製菓業界志望者バックアップ（1年次2月）
- J A 関連企業志望者バックアップ（1年次2月）

3. 本学の就職活動早期化への対応

航空業界対策講座

- C A、グランドスタッフ、空港インフォメーションとして、今春30名が就職
- 1年次11月～2年次5月まで15回にわたる航空業界対策講座を開催
- 倍率が高い人気企業のため、しっかりと準備が必要
- 1年次10月に希望者と個別面談を行い、今からできること、特に応募条件の英語力をクリアするようアドバイス

3. 本学の就職活動早期化への対応

就活のスタートが遅れた学生への対応

- 教員と連携し活動状況の把握
- 就職課に呼んで個別面談
 - 面談はリラックスした状態で行う、ホンネを聞きだすことが狙い
- 面談終了時は行動につながる約束をする
 - その場でキャリアカウンセラーの予約をさせる、具体的な求人を紹介する等

まとめ

◆本学の就職活動早期化への対応◆

「早期化対応よりも、二極化にどう対応するか」

- ボリュームゾーンを中心に据える
- 早期に活動する学生はグルーピングして支援
- 就活のスタートが遅れた学生には個別支援